

社長のひとりごと  
【住宅】

## 住宅会社の『社員教育』



文/久保川議道  
Yoshimichi Kubokawa

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!  
くぼかわよしみち.com毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ  
agg-hd.co.jp  
asahiglobal.co.jp  
global-mie.jp  
super-chintai.com  
goldtrust.co.jp  
goldage.co.jp  
kubokawayoshimichi.com

京セラ創業者の稻盛和夫さんは、仕事のできる人できない人を評価する基準は『能力』×『熱意』×『考え方』と言われます。掛け算ですから、能力のある人が(+)熱意をもつて(+)悪い事を考える(−)と、結果は全てマイナスですから警察につかまって刑務所に行くことになってしまいますね。その人の考え方や哲学や理念が凄く大切ですよ。と稻盛さんは私達に教えています。

うちの社員さんはもう500人になってしまったが、(アサヒグローバル・ゴールドトラスト・ゴールドエイジ・その他グループ全体・パート含む)、やはり能力の無い人も熱意の少ない人も居ますね。人間の能力とは「人一人違いがあつて当然ですから、5段階評価で①の人も⑤の人も居る訳です。『適材適所』ですから、社長といたしましてはその人の能力と熱意をじつと観察して、その人に合った仕事と役割と責任を与えているつもりです。結局のところ『能力』と『熱意』は本人次第ですから私がどうこう言える立場ではありません。

しかし私は『社員教育』には熱心(異常に熱心)ですから、会社全体では月に110時間、年間1,320時間も社員研修をしています。お金も相当多額使っています。階層別(部長・店長・一般)

と職種別(営業・設計・工事・その他)に分かれますから大体1人当たり年間300時間くらいでしょうか。これは異常な数字ですね。

私が何故これ程厳しく社員教育をするのでしょうか。それはですね一生に一回、家を建てていただくお客様に迷惑をかけはいけないからです。私自身は営業も設計も工事も全て分かる『プロ』ですから、私一人でお客様のお世話をさせていただければ、そのお客様には必ず『大満足』していただけます。

しかし今はもう年間1,000世帯

の住宅受注ですから、社員さんにお願いして任せることになります。しかし本音を言えば『死ぬ程心配』なんですね。もう夜も眠られませんね。それ程1件1件のお客様の『住まいの夢』を『実現』することとは大変に気を使つて、熱意をもつて情熱を注いで、実力も能力も経験もないとやれない仕事なんですね。しかし能力は一人違いますから、お客様にお叱りをいただく事もたくさんあるのです。ですから徹底した社員教育に、時間もお金も使えるだけ使おう、と言うのが私のやり方になってしまいました。

特に私は『考え方』の教育は異常に厳しいですね。その理由は、人間と言うものが必ず失敗するんですね。そしてお客様は必ず失敗するんですね。そしてお客様

に叱られる。さてその時です。能力は少々低くとも、正しい考え方で、お客様の立場で、お客様以上の『家づくり』の熱意と情熱でその社員が対応すれば、これはいつも『奇跡』ですが、お客様が分かつていただいミスが納つて、素晴らしい家が完成するんですね。共同作業と言うか、戦友と言ふか、雨降って地固まると言うか、生む苦しむと言うか、不思議です。お客様に喜んでいただくことができますね。

やはり一番大切なのは①お客様に対する考え方・理念・哲学です。②次に能力・技術経験。③そしてお客様に負けない、お客様以上の家づくりに対する情熱と熱意と真剣さを持つことですね。

そしてその基本中の基本は本人個人の『生きる哲学』ですから、私は社員さんに『人間とは何か』『どう生きるべきか』『人間の本質とは』『宇宙とは、自然とは何か』を教えます。50種類以上の研修の中の一番大切な研修は何ですかと言われば私は『芳村思風先生の感性論哲学』と答えます。

もし宜しければこの社員研修用のD.V.D.(180分)をお送り致しますのでお申し込みください。

今回はちょうど眞面目に『住宅会社の社員教育』について青年の主張をしてしまいました。ご理解ください。

わくわく  
**夢ニュース【住宅】**  
WAKUWAKU YUME NEWS

採光タップリの  
広々プレイルーム!!

『エコ家事の家』デザイン性にも優れた横型スリット窓のある子供部屋  
12帖以上の子供部屋は、将来は部屋をセパレートすることを考えレイアウト。  
お子様が幼い内はお日様の光がタップリ当たるプレイルームとして明るく元気に過ごせます。

6

May.2013

No.136

